

RA 東京「第 68 回 SSC 杯関東大会」に参加して

2018 年 4 月 14 日

市川鋼一

恒例の小学生年代の大会「第 68 回 SSC 杯関東大会」は 3 月 27 日、桜満開の好天のなか大井埠頭中央海浜公園 第二球技場で開催されました。



東京オリンピック準備の影響で会場が人工芝の球技場に移りました。

運営面では、ピッチと観戦側とが区切られたスタンド付きグラウンドのため、応援でピッチに近寄ることがなくなったことやプレーのしやすさなど、試合に集中しやすい環境になったと感じました。

また、低学年、中学年、高学年の3カテゴリー同時進行で3つのピッチを作るため、テープを使ってラインを描きました。意外とテープが剥がれず、良好だったと思います。



RA 東京からは9名が運営協力審判として参加しました。SSCスタッフ審判もほとんどがこの大会の審判経験者となり、判断や動作も向上し、良いチームワークで試合を進めることができました。



高学年決勝戦は 1 対 1 で PK 方式に突入、白熱した試合展開でおいに盛り上がった試合となりました。すべてのカテゴリーで選手たちのプレーレベルが上がってきていて、良い大会になっていると感じました。



表彰式

表彰式において和田副会長は

「U12 決勝戦は素晴らしい試合でした！ゴールキーパーのキャッチングを練習する
ともっと良い試合になる」

また U10 に向けては「サッカーは難しい、ボールを意のままに、シュートは強く、ドリ
ブルは速く、そして全力で一生懸命プレーしてください！」と話されました。

6年生は元気で充実した中学校生活になることを願っています。



RA 東京参加メンバー 桜満開の下、33 試合の審判を終えて